



## やっと出会えた、桃太郎

誰もが知っている昔話「桃太郎」、この昔話の元になったと言われているのが岡山に伝わる「桃太郎伝説」です。しかしこの伝説、昔話とは全く異なる物語が描かれています。

### くらべてみよう物語

#### 昔話の桃太郎

昔々、あるところにおじいさんとおばあさんがいました。おばあさんが川へ洗濯にいくと、川上から大きな桃が流れてきました。

その桃を持ち帰り、割ってみると、中から男の子が！その男の子は「桃太郎」と名付けられ大切に育てられました。やがて、成長した桃太郎は悪さをする鬼を退治しにいきました。

道中、おばあさんお手製のきびだんごを与えて仲間にした犬・猿・雉とともに、鬼ヶ島に乗り込み鬼を退治し、宝物を手に入れて帰りましたとさ。

めでたし、めでたし。

#### 桃太郎伝説

その昔、吉備と呼ばれた岡山では温羅（うら）と呼ばれる鬼が鬼ノ城をすみかに暴れまわり、村人を苦しめていました。そこで、大和の王は吉備津彦命（きびつひこのみこと）に温羅を退治するように言いました。

吉備津彦命は、吉備の中山に陣を構え、巨石の楯を築き守りを固め、得意の弓矢で攻撃します。一方、温羅も城から弓矢で迎え撃ちます。時に、互いの矢がぶつかり合う激しい戦いでした。戦いの末、傷を負った温羅は鯉に化けて逃げますが、吉備津彦命は鵜に変身して温羅を捕まえて見事に退治しました。

その後、討ち取られた温羅の首は吉備津神社の御釜殿の釜の下に埋められます。ある日、吉備津彦命の夢に温羅が出てきて「自分の妻がこの釜を使って米を炊くようにすれば、あなたの使いとなり、釜の音で世の吉凶を占おう」と告げます。こうして、今でも吉備津神社では「鳴釜神事」という吉凶を占う神事が執り行われています。

### 鬼は本当に悪者？

鬼とされる温羅については色々な解釈があります。この戦いは大和と吉備の争いで温羅は一方的な悪者ではなかった、温羅は吉備に製鉄を伝えた人物だった、などなど…。また、温羅は吉備津彦命との戦いに敗れた後も人々を占いで導いてくれます。もしかすると、温羅は鬼などではなく、吉備に住む優しい人物だったのかもしれない。

## おかやまは温羅でおもてなし。

温羅については色々な見方がありますが、岡山では温羅にちなんだお祭りが催されるなど、桃太郎と同じように温羅が地域の人々に愛されています。鬼とみなされた温羅の目線も大事にして、表に描かれる物語だけでなく、その裏に隠された真実、そのどちらもこのまちは温かく受け入れているのです。あなたも岡山でおもてなしにふれ、そして「うら」目線で桃太郎の本当の物語を感じてみませんか。



### Column

## 日本遺産めぐり 現地体験コラム

桃太郎伝説が伝わるおかやま。ライターのお豊さんが、伝説ゆかりの地を巡ってきました。歴史ロマンあふれる古代吉備の世界をご紹介します！コラムの詳細は、WEBサイトでご紹介しています。



こちらのQRから  
コラムが閲覧できます



譽田 亜紀子（こんだあきこ）

ライター。奈良県橿原市の観音寺本馬土偶との出会いをきっかけに、各地の遺跡、博物館を訪ね歩き、土偶の研究を重ねている。また、各地の文化財をわかりやすい言葉で伝える仕事を多く手がける。テレビやラジオに出演するかたわら、トークイベントに参加するなど文化財の魅力を発信し続けている。

著書に「はじめての土偶」（2014年/世界文化社）、「にっぽん全国土偶手帖」（2015年/世界文化社）、「ときめく縄文図鑑」（2016年/山と溪谷社）、「土偶のリアル」（2017年/山川出版社）、「知られざる縄文ライフ」（2017年/誠文堂新光社）、「土偶界へようこそ—縄文の美の宇宙」（2017年/山川出版社）共著「おもしろ図解き「縄文」のヒミツ」（2018年/小学館）共著「折る土偶ちゃん」（2018年/朝日出版社）がある。



桃太郎と鬼が  
戦った場所なんだ！



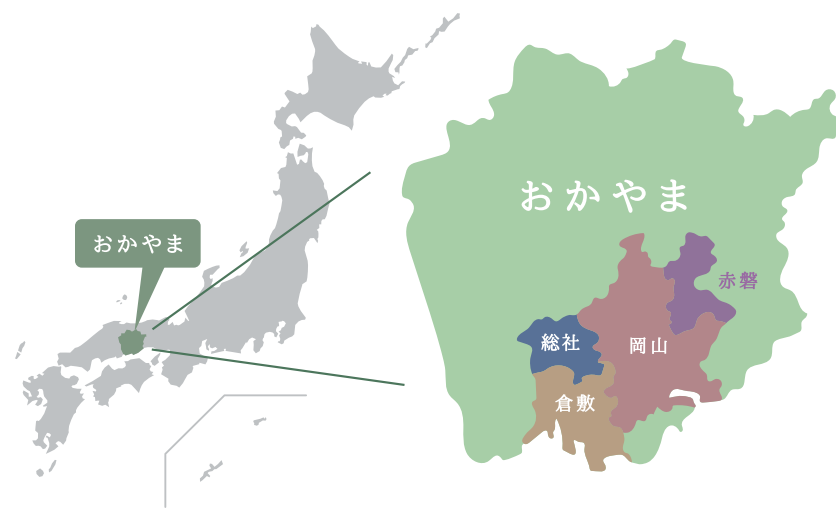
古墳の上を  
お散歩！



石室の石は  
大きいなあ。

### Access Guide

### 「おかやま」までのアクセス



#### ✈ 飛行機

各所（札幌、東京、沖縄）  
↓  
岡山桃太郎空港  
↓（バス 約30分）  
JR 岡山駅西口

#### 🚆 新幹線

岡山駅まで

- 東京から ……3時間17分
- 名古屋から ……1時間30分
- 新大阪から ……45分
- 博多から ……1時間45分

#### 🚗 高速道路

岡山I.C.まで

- 大阪から（中国吹田I.C.）…2時間5分
- 神戸から（神戸J.C.T.）…1時間40分
- 米子から（米子I.C.）…1時間50分
- 高松から（高松中央I.C.）…1時間5分

## 日本遺産「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま ～古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～



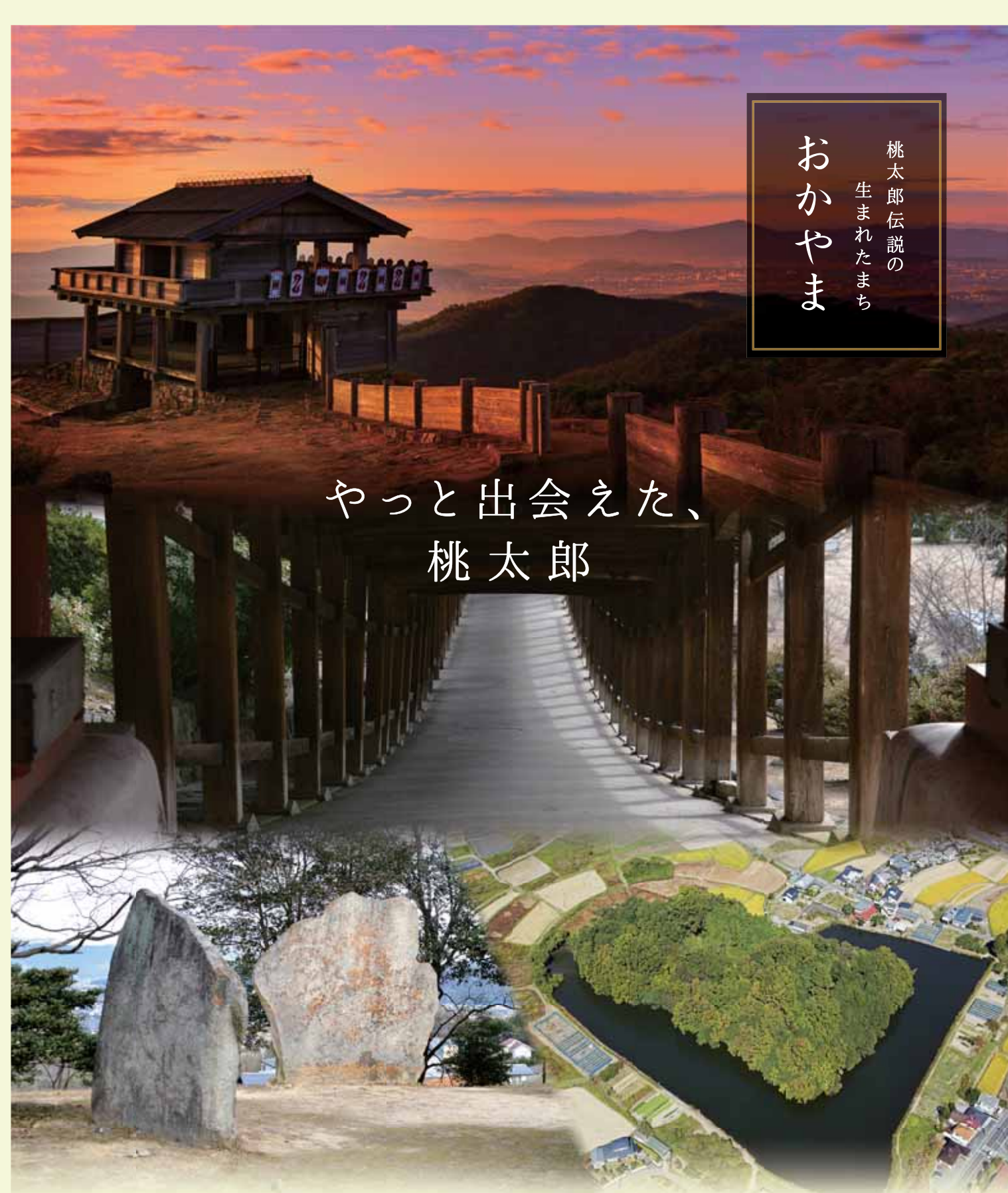
日本遺産「桃太郎伝説の生まれたまち おかやま」推進協議会事務局  
平成30年度「日本遺産魅力発信推進事業」

<https://momotaro-ura.jp>

日本遺産 桃太郎伝説 検索



日本遺産「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま ～ 古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語 ～は、岡山市、倉敷市、総社市、赤磐市の4市で構成されています。



桃太郎伝説の  
生まれたまち  
おかやま

## やっと出会えた、 桃太郎

## おかやまは温羅でおもてなし。

鬼は本当に悪なのか。今もなお、多くの謎が残る桃太郎伝説。伝説のなかで語られる鬼「温羅」の本当の姿とは？！



# 桃太郎伝説を巡る旅へ!

今も岡山の各地には桃太郎伝説にまつわる遺跡や神社などがたくさんあります。伝説ゆかりの地を巡ると、いにしへの岡山を舞台にした壮大な物語を感じることが出来ます。桃太郎伝説の真実をぜひ、あなたの目で確かめてみてください!

## さあ、伝説の舞台を一望しよう!



**鬼城山(鬼ノ城) 1**  
きのじょうざん(きのじょう)

伝説の中で、温羅(うら)と呼ばれた鬼が住んでいたとされる山です。ここにはかつて巨大な古代山城「鬼ノ城」がありました。現在は、門や角楼などが復元されています。

PHOTO SPOT 朝日を見よう!

**吉備津彦神社 3**  
きびつひこじんじや

大吉備津彦命を祀る神社です。備前国の一宮として建立されあつく信仰されてきました。また、境内には温羅を祀る温羅神社もあります。

コチラが、温羅神社!

絵馬が桃のかたち!

**岡山 の 桃**  
おかやまのもも

古くから鬼は桃を恐れると言われていました。これは、鬼を退治する桃太郎にも関わっていることが想像されます。気候風土に恵まれ、桃の産地として有名な岡山で桃太郎伝説は育まれてきました。

**きびだんご**

岡山を代表する銘菓です。桃太郎が鬼退治の際に犬・猿・雉に与えたきびだんごがモチーフとなっており、江戸時代には吉備津神社の門前で売られていました。

**吉備津神社 2**  
きびつじんじや

鬼を退治した大吉備津彦命を祀る神社です。本殿、拜殿は国宝に指定されています。境内には、矢置岩や御釜殿など桃太郎伝説ゆかりの文化遺産が残されています。

6月頃にはあじさいが咲き誇る!

PHOTO SPOT

**吉備津神社の鬼面**  
きびつじんじやのおにめん

吉備津神社に伝わる鬼の面です。16世紀頃に作られたと言われています。

**吉備津神社御釜殿**  
きびつじんじやおかまでん

吉備津彦命に退治され、切り落とされた温羅の首が釜の下に埋まっていると伝えられています。

**鳴釜神事**  
なるかましんじ

御釜殿で執り行われる神事です。釜を鳴らし、その首では温羅の首が埋まっているとされています。

**橋築遺跡**  
たてつきいせき 9

弥生時代の墳丘墓で、その大きさは全国最大級です。伝説においては、頂上にある巨石は、温羅と戦った際に吉備津彦命が橋として築いたものとされています。

矢を防いだ巨石!

PHOTO SPOT

**橋築神社の旋帯文石**  
たてつきじんじやのせんたいもんせき

橋築遺跡の上にある橋築神社、その御神体が旋帯文石です。石に刻まれた帯状の文様は弥生時代の優れた彫刻技術を物語っています。また、伝説の中で吉備津彦命が空飛ぶ乗り物として使っていたとも言われています。



## 桃太郎伝説で訪れたいスポット

**鬼の釜 4**  
おにのかま

温羅が生け贄を茹でた釜

伝説の中で、温羅が生け贄となった人々を茹でる際に使っていたとされる釜です。しかし実際には鎌倉時代の備前源が人々のために作った湯釜だと考えられています。

**矢喰宮 5**  
やぐいのみや

矢がぶつかり落ちた場所!

戦いの中で、吉備津彦命と温羅の射た矢が空中でぶつかり落ちた場所に祀られているのが矢喰宮です。境内には温羅が投げたと伝えられる巨石があります。

**血吸川 6**  
ちすいがわ

温羅の血が流れて染まった川!

鬼城山から流れ出る川です。伝説では吉備津彦命の射った矢で、傷を負った温羅の血が流れて真っ赤になったと言われています。

**鯉喰神社 7**  
こいくいじんじや

温羅を退治した場所!

伝説では吉備津彦命は鵜に变身し、鯉に化けて逃げる温羅を捕まえて退治しました。その捕えた場所に祀られているのが鯉喰神社です。

**白山神社の首塚 8**  
はくさんじんじやのくびづか

温羅の首をさらした場所!

白山神社の境内に、未社の「米神」と呼ばれる高さ約1.5mの塚があります。伝説では、温羅との戦いに勝利した吉備津彦命が温羅の首をはね、串にさしてさらしたとされる場所です。

## 桃太郎伝説の背景にある吉備の勢力

古代、日本列島の各地には大きな力を持った人物があり、その強大さは現代でも古墳や遺跡として感じることが出来ます。古代吉備国もその一つで、それを物語る巨大な古墳や遺跡が残されています。当時、彼らが他の勢力と争ったことが、吉備津彦命と温羅の戦いとして伝説になったのではないかとされています。

**両宮山古墳 10**  
りょうぐうざんこふん

吉備で造山古墳、作山古墳に次ぐ規模の前方後円墳です。また、吉備地方では唯一水を湛える周濠がある古墳です。

4月初旬頃には一面が桃の花でピンク色に染まる!

PHOTO SPOT

**造山古墳 11**  
つくりやまこふん

全国第4位の規模を誇る前方後円墳です。このような巨大な古墳を造ることが出来る強大な勢力が吉備に存在していたことを示しています。周辺からは朝鮮半島と関連する遺物が出土しています。

春には古墳の上で花見散策!

PHOTO SPOT

**箭田大塚古墳 12**  
やたおつかこふん

吉備三大巨石墳の一つである円墳です。吉備津彦命の弟の子孫とされる下道氏の墓と考えられています。

吉備津彦命の弟の子孫が眠る!

昔の人は大きな石を運ぶのが大変だったろうな...

**牟佐大塚古墳 13**  
むさおつかこふん

吉備三大巨石墳の一つである円墳です。吉備津彦命の子孫とされる上道氏の墓と考えられています。

**こうもり塚古墳 14**  
こうもりづかこふん

吉備三大巨石墳の一つである前方後円墳です。横穴式石室は全長約19.4mもあり、吉備では最も大きい石室です。

**作山古墳 15**  
つくりやまこふん

5世紀中頃に造られた全国第10位の大きさの前方後円墳です。全長約282mの大きさで鬼ノ城からも見下ろすことができます。